VETTA

Acumen Inc.
www.vetta.com
©2007 All Rights Reserved

RT255 RT255L RT277 RT288 RT288L 取扱説明書

REV:1.0 日本語

初めにお読みください

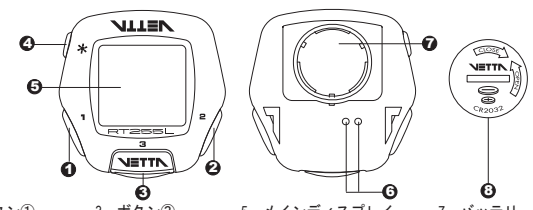
VETTAサイクルコンピュータをお買い上げいただき、ありがとうございました。RT200シリーズはRTシリーズサイクルコンピュータのアップグレード版です。この製品は当社認定の自転車販売店でのお取り付けをお勧めします。なお、取扱説明書をよく読まれずに間違って装着した場合には、保証の対象外となる場合がございますので、ご注意ください。製品の装着または使用方法に関してご不明な点がございましたらお近くの自転車販売店までお問い合わせください。

機能/特徴

	RT255	RT255L	RT277	RT288	RT288L
ヘビーデューティメタルブライテッドケーブル	•	•	•		
ワイヤレス				•	•
リプレーサブルヘッドユニットカバー（透明）	•	•	•	•	•
3段スクリーンモード	•	•	•	•	•
ナイトライト/スマートライト		•			•
イージータイヤセットアップ	•	•	•	•	•
サービスタイマー	•	•	•	•	•
走行ペース（速度比較警告機能）	•	•	•	•	•
オートスタート	•	•	•		
電池消耗防止オートスタート				•	•
走行速度（SPD）	•	•	•	•	•
平均/最高速度（AVG SPD/MAX SPD）	•	•	•	•	•
走行乗車時間（RT）	•	•	•	•	•
積算走行距離（ODO）	•	•	•	•	•
走行距離（DST）	•	•	•	•	•
フリーズフレームメモリー（設定確認機能）	11	16	11	11	16
ラップ（管理機能）	10	15	10	10	15
ケイデンス（CAD）			•		
平均/最大ケイデンス(AVG CAD/MAX CAD)			•		
12/24時間時計（CLK）	•	•	•	•	•

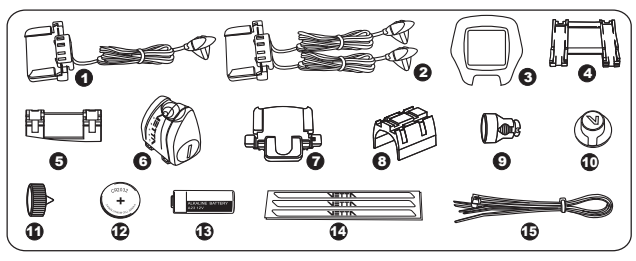
イラスト

ヘッドユニット



1. ボタン①
2. ボタン②
3. ボタン③
4. ボタン④ (RT255L/288L)
5. メインディスプレイ
6. 接点 (RT255/RT255L/RT277)
7. バッテリーケース
8. バッテリーカバー

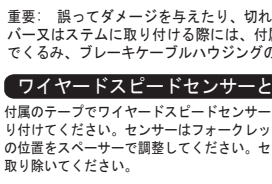
部品



1. ブラケットつきワイヤードスピードセンサー（頑丈な取り付け金具つき）
2. ブラケットつきワイヤードケイデンスセンサー（リアホイール用頑強取り付け金具つき）
3. リプレーサブルヘッドユニットカバー（透明）
4. ブラケットラバーパッド
5. ブラケットラバーパッド（ライザーハンドルバー用）
6. WLワイヤレススピードトランスミッター
7. ワイヤレスマウンティングブラケット
8. ワイヤレストランスミッションシム
9. スポークマグネット
10. ケイデンスマグネット
11. スペーサー
12. ヘッドユニットバッテリー（CR-2032, 3ボルト）
13. ワイヤレストランスミッターバッテリー（A23, 12ボルト）
14. コード巻きテープ
15. タイラップ

RT255/RT255L : ❶ ❸ ❹ ❺ ❾ ❿ ⓫ ⓬ ⓮ ⓯
RT277: ❷ ❸ ❹ ❺ ❾ ❿ ⓫ ⓬ ⓮ ⓯
RT288/RT288L: ❸ ❹ ❺ ❻ ❼ ❽ ❾ ⓫ ⓬ ⓭

LCD ディスプレイ

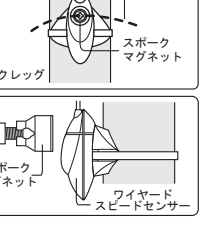


1. 上段スクリーン
2. 中段スクリーン（速度）
3. 下段スクリーン
4. サービスタイマー/電池消耗アイコン
5. 走行ペースアイコン（▲/▼）
6. 速度/距離単位
7. セットアップモードアイコン
8. 機能アイコン
9. RPM（ケイデンス）インジケーター/RT（走行乗車時間）/PM（午後）/TM（走行距離）アイコン
10. 速度+スプリットタイムアイコン
11. フリーズフレームメモリーアイコン
12. ラップアイコン
13. オートスタートアイコン

ボタン機能

押す
ボタン①: 上段スクリーンモード
ボタン②: 下段スクリーンモード
ボタン③: F（フリーズフレームメモリー）もしくはラップボタン
ボタン④: ナイトライト（RT255L/288L）ボタン

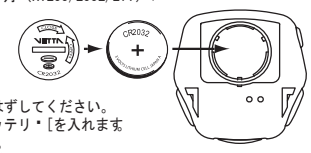
2秒間押す
ボタン③: フリーズフレームメモリーもしくはラップデータ呼び出し
下段スクリーンがCLKモードのとき、ボタン①+②: NOM設定
下段スクリーンがDSTモードのとき、ボタン①+②: 走行データを0にリセット （保存されている設定やラップデータ含む・j
ボタン①+②+③: トータルリセット



バッテリーの装着方法

ヘッドユニット

RT200シリーズヘッドユニットはCR2023, 3ボルトリチウムボタンバッテリーを使用しています。
電池寿命：（トレーニング1時間/日）：およそ12ヶ月（RT255/255L/277）；およそ8ヶ月（RT288/288L）

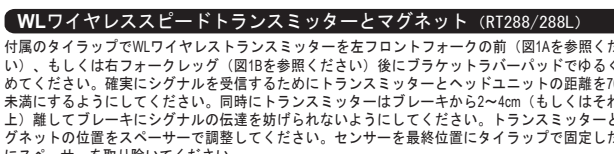


重要： サイクルコンピュータの問題の多くはバッテリーが消耗しているか切れていることに起因しています。この取扱説明書の最後にあるトラブルシューティングをご確認ください。
1. ヘッドユニットからバッテリーカバーをコインではずしてください。
2. 図のようにプラス（+）側を見えるようにしてバッテリ・[を入れます
装着中に電極に触れたり、曲げたりしないでください。
3. バッテリーカバーをしっかり回して閉め、0リングシー・汲ɪきつかったり、曲がったりしてないことを確認してください。

注意：バッテリーカバーが壊れないように締めすぎにはご注意ください。

WLワイヤレススピードトランスミッター（RT288L）

WLワイヤレススピードトランスミッターはA23, 12ボルトバッテリーを使用しています。バッテリーカバーをコインではずしてプラス（+）側を外側にしてバッテリーを入れて、バッテリーカバー を閉めます。

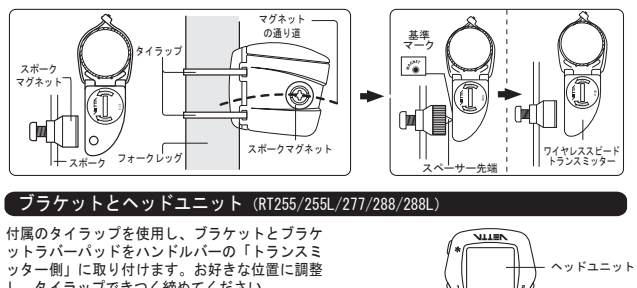


取り付け方法

重要： 誤ってダメージを与えたり、切れたりしないようにワイヤをフレーム、フォーク、ハンドルバー又はステムに取り付ける際には、付属のタイラップをご使用ください。余分なワイヤはテープでくるみ、ブレーキケーブルハウジングのまわりにしっかり止めてあることを確認してください。

ワイヤードスピードセンサーとマグネット（RT255/255L）

付属のテープでワイヤードスピードセンサーとスポークマグネットをそれぞれのフォークレッグ内側に取り付けてください。センサーはフォークレッグと同じ高さに取り付けてください。センサーとマグネットの位置をスペーサーで調整してください。センサーを最終位置にタイラップで固定した後にスペーサーを取り除いてください。



ワイヤードケイデンスセンサーとマグネット（RT277）

付属のテープでワイヤードケイデンスセンサーとケイデンスマグネットをクランクアーム左側に取り付けてください。センサーとマグネットの位置をスペーサーで調整してください。センサーを最終位置にタイラップで固定した後にスペーサーを取り除いてください。

WLワイヤレススピードトランスミッターとマグネット（RT288/288L）

付属のタイラップでWLワイヤレストランスミッターを左フロントフォークの前（図1Aを参照ください）、もしくは右フォークレッグ（図1Bを参照ください）後にブラケットラバーパッドでゆるくとめてください。確実にシグナルを受信するためにトランスミッターとヘッドユニットの距離を70cm未満にするようにしてください。同時にトランスミッターはブレーキから2~4cm（もしくはそれ以上）離してブレーキにシグナルの伝達を妨げられないようにしてください。トランスミッターとマグネットの位置をスペーサーで調整してください。センサーを最終位置にタイラップで固定した後にスペーサーを取り除いてください。

ブラケットとヘッドユニット（RT255/255L/277/288/288L）

付属のタイラップを使用し、ブラケットとブラケットラバーパッドをハンドルバーの「トランスミッター側」に取り付けます。お好きな位置に調整し、タイラップできつく締めてください。
注意：フォークおよびハンドルバーが自由に動くようにワイヤには十分にゆとりを持たせておいてください（図Aを参照ください）。図のように本体をブラケットにスライドさせ、正確な位置でカチッという音がするまで差し込みます。取り外すときには2つのロッキングタブを内側に押しこみます。付属のタイラップでケーブルりにしっかりとワイヤを固定します。

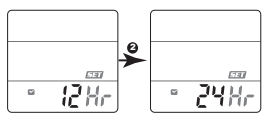
テスト

取り付けが完了したら、コンピュータが正しく動くかどうか確認してください。
スピードセンサー取り付けテスト：
自転車の前部を持ち上げ、前輪を回してください。2,3秒以内に速度が表示されるはずです。
ケイデンスセンサー取り付けテスト（RT277）：
ボタン①もしくは②を押してCAD(ケイデンス)モードに進みます。クランクを後ろに回すか短い距離を走行してください。何回か旋回すると、ケイデンスが表・ヲされるはずです。
速度もしくはケイデンスが表示されない場合はマグネッ・gとセンサ-トランスミッターが一直線に並んでいるかどうか、また距離が正確かどうかをチェックしてください。ヘッドユニットが正しい位置に固定されているか確認してください。それで問題が解決されないようであれば、当社認定の販売店までご連絡ください。
重要：マグネットの固定ねじおよびすべてのタイラップがしっかり締まっているかも確認してください。

セットアップとプログラミング

セットアップモードでは、ボタン?で、値の選択あるいは設定、表示数字の次桁の数字への移動、あるいはスクリーンモードへの移動ができます。ボタン?は設定を切り替えたり、数字を増やすことができます。
初期設定
すべてのRT200シリーズコンピュータはバッテリーを装着するかトータルリセット（いずれのモードでもボタン①+②+③を同時に3秒間押す）すると初期設定画面に進むように設定されています。
初期設定ではコンピュータの基本設定をプログラムできます。設定項目はNOMセットアップの基本設定と同じものです。
重要：コンピュータはセットアップモードではすべての基本設定が終わるまでは終了できません。
NOM 設定
初期設定終了後、NOM設定モードで数値の変更、訂正することができます。
NOM設定モードに入るには下段スクリーンがCLKモードのときにボタン①と②を同時に押し続けます。終了もしくは元のモードに戻りたいときにはボタン③を押します。

12/24時間時計の切り替え設定 RT255/255L/277/288/288L

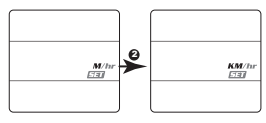


ボタン②を押して12時間と24時間表示の切り替えをします。ボタン①を押して時間を選び（PMアイコンが表示されていない場合は午前を表わします）、時間設定に進みます。

時刻の設定 RT255/255L/277/288/288L

ボタン②を押して時間の桁を進め、数字をあわせます（早く進めるには押し続けてください）。ボタン①を押して確定し、分の設定に進みます。同じようにボタン②を押して分の数字をあわせ、ボタン①を押して確定します。

速度/距離単位の設定 RT255/255L/277/288/288L



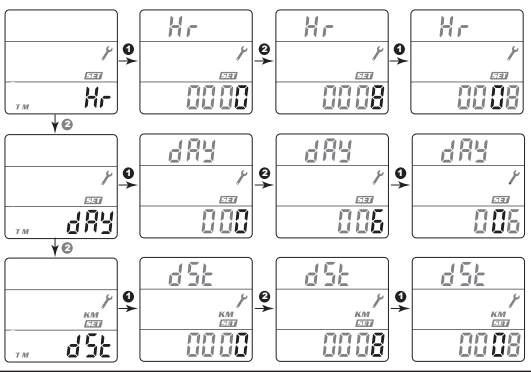
ボタン②を押してM/hrとKM/hrを切り替えます。ボタン①を押して確定し、セットアップ次画面に進みます。
備考：走行データが設定モードに入る前にクリアされなければ、速度/距離単位はすべての設定モード（サービスタイマーおよび積算走行距離を含む）で固定されます。初期設定、電池交換およびオールクリアトータルリセット時には影響はありません。

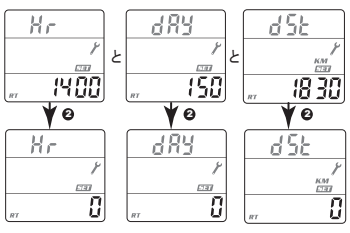
サービスタイマーの設定 RT255/255L/277/288/288L

サスペンションフォーク、リアショック、チェーン、その他のパーツは製造元で定められた特定間隔でメンテナンスをする必要があります。サービスタイマーは走行時間（時間または日数）もしくは距離でメンテナンスの間隔を設定することができます。

初期設定の"0000"ではサービスタイマーは設定されていません。

ボタン②を押してhr/day（時間/日）またはdst（距離）表示を点滅させます。ボタン①を押して数字を確定し、ボタン②を押して次の桁に進みます。同様にボタン①を押して数字を設定します。（最大設定時間：時間/日/距離＝1,999/999/999）





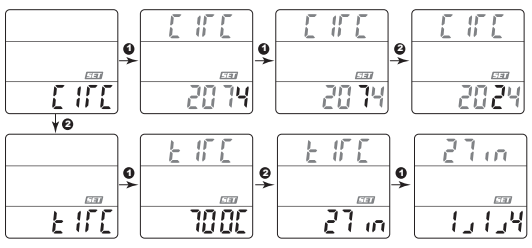
走行時間（サービスタイマーに設定した時間）もしくは距離が点滅を始めたら、ボタン②を押して0にリセットするか、ボタン①を押して数字を保存して、セットアップモード次画面に進んでください。
重要：初期設定では、サービスタイマーの時間［距離］は設定されていません。

ホイール/タイヤサイズの設定 RT255/255L/277/288/288L

ボタン②を押して"circ"（周長）と"tire"（タイヤタイプ）を切り替えます。ボタン①を押して確定し、セットアップ次画面に進みます。

"circ"を選んだら、ボタン②を押して数字の桁を進め、ボタン①を押して設定した数字（タイヤサイズ周長表を参照ください）にあわせ、確定します。

同様に"tire"を選んだら、ボタン②を押して700c, 650c, 27 in, 26in, 24in, 20in, 16inから正しいタイヤサイズを選んでボタン①を押して確定し、セットアップ次画面に進みます。

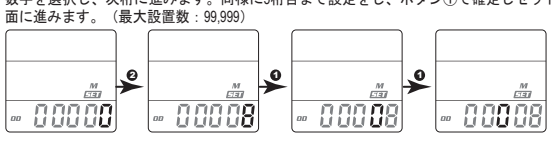


タイヤサイズ周長表

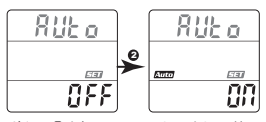
タイヤサイズ	周長	タイヤサイズ	周長	タイヤサイズ	周長	タイヤサイズ	周長
700x 38mm	2180	700x 20mm	2074	26" x 2.25"	2115	26" x 1.0"	1913
700c x 35mm	2168	700c Tubular	2130	26" x 2.1"	2095	24" x 1.9/1.95"	1916
700c x 32mm	2155	650c x 23mm	1990	26" x 2.0"	2074	20" x 1.25"	1618
700c x 30mm	2145	650c x 20mm	1945	26" x 1.9/1.95"	2055	16" x 2.0"	1253
700c x 28mm	2136	27" x 1.25"	2161	26" x 1.75"	2035	16" x 1.95"	1257
700c x 25mm	2124	27" x 1.125"	2155	26" x 1.5"	1985	16" x 1.5"	1206
700c x 23mm	2105	26" x 2.3"	2135	26" x 1.25"	1953		

積算走行距離の設定 RT255/255L/277/288/288L

ボタン②を押して点滅している桁をあわせたい数字までスクロールさせます。ボタン①を押して数字を選択し、次桁に進みます。同様に5桁目まで設定をし、ボタン①で確定しセットアップ次画面に進みます。（最大設置数：99,999）



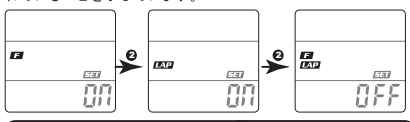
オートスタートの設定 RT288/288L



オートスタートがオンのとき：コンピュータは速度シグナルもしくはボタン操作を認識したら、スリープモードから戻ります。
オートスタートがオフのとき：電池消耗を節約するため、ボタン操作されたときのみスリープモードから戻ります。
ボタン②を押して、OFFとONを切り替えます。ボタン①・・で確定し、セットアップ次画面に進みます。備考：ノーマルディスプレイモードでアイコン Auto が表示されているときはプログラム可能なオートスタートが選択されていることを示してい・ワす

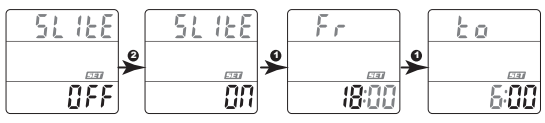
フリーズフレームメモリーもしくはラップの設定 RT255/255L/277/288/288L

ボタン②を押して"F"（フリーズフレームメモリー）と"LAP"（ラップデータ）とOFF（フリーズフレームメモリーおよびラップデータのオフ）を切り替えます。ボタン?を押してセットアップ次画面に進みます。備考：ノーマルモードでアイコン F もしくは LAP が表示されているときはそれが選択されていることを示しています。



スマートライトの設定 RT255L/288L

スマートライトはあらかじめ設定した時間の間にいずれかのボタンを押すと3秒間つきます。ボタン②を押してOFFとONを切り替えます。スマートライトがOFFのとき、ボタン①を押すとセットアップモードを終了します。スマートライトがONのとき、ボタン①を押し、時間の設定に進みます。ボタン②を押して設定したい時間に桁を進めます（設定範囲：Fr(from):1:00 PM to 11:00 PM; To(to): 1:00 AM to 11:00 AM）。ボタン①を押して確定し、セットアップモードを終了します。



機能

上段スクリーンモードの種類は下段スクリーンモードと同じです。
お好きなスクリーンモードをご利用ください。
ボタン①を押して上段スクリーンモードを変更します。
ボタン②を押して下段スクリーンモードを変更します。
下段スクリーンがCLKモードのとき、ボタン①と②を同時に2秒間押して、NOM設定モードに入ります。ボタン③を押せばいつでも終了できます。
下段スクリーンがDSTモードのとき、ボタン①と②を同時に2秒間押すと、すべての走行データ（走行距離、平均速度、最高速度、走行時間、平均ケイデンス*、最大ケイデンス*）を0にリセットします。（*RT277のみ）

SPD（走行速度） RT255/255L/277/288/288L

速度は常に画面上段に表示されます。表示精度は0.1マイル/時もしくは0.1km/時で最大速度表示は139.9マイル/時もしくは199.9km/時です。

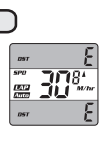
RT（走行時間） RT255/255L/277/288/288L

走行時間は、最大100時間までの累計走行時間を表示します[9:59:59時間の場合は、h:mm:ss表示となり、0:09:59は9分59秒を意味します。10時間以上の場合は、hh:mm:ss表示となり、11:28は11時間28分を意味します。

備考：走行時間が**99時間59**分を超えると"E"が画面に表示され、それ以上の計測は不可能になります。

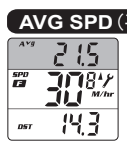
DST（走行距離） RT255/255L/277/288/288L

距離表示は最大999.9マイルもしくは999.9kmまでの走行距離を表示します。精度は0.1Mもしくは0.1kmです。

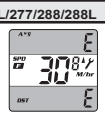


備考:走行距離が**999.9**マイル［km］を超えたときは、"E"が表示され、それ以降の測定は不可能です。

AVG SPD（平均速度） RT255/255L/277/288/288L

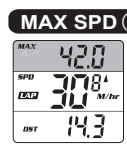


平均速度の精度は0.1M/hrもしくは0.1km/hrです。



備考: 走行時間が**99**時間**59**分を超えるか、走行距離が**999.9**マイル［km］を超えたときは、"E"が画面に表示され、それ以上の計測は不可能になります。

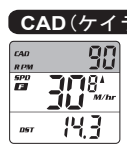
MAX SPD（最高速度） RT255/255L/277/288/288L



最高速度の精度は0.1M/hrもしくは0.1km/hrです。

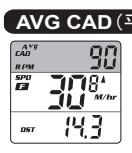
備考: 走行時間が**99**時間**59**分を超えるか、走行距離が**999.9**マイル［km］を超えたときは、"E"が画面に表示され、それ以上の計測は不可能になります。

CAD（ケイデンス） RT277

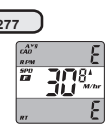


ケイデンスはクランクの旋回数/分（RPM）で計測されます。

AVG CAD（平均ケイデンス） RT277

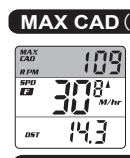


平均ケイデンスは総走行時間をクランクの総旋回数で割って計算します。



備考: 走行時間が**99**時間**59**分を超えるか、走行距離が**999.9**マイル［km］を超えたときは、"E"が画面に表示され、それ以上の計測は不可能になります。

MAX CAD（最大ケイデンス） RT277



最大ケイデンスは現在計測ケイデンス値に基づき、1秒ごとに更新されます。

備考: 走行時間が**99**時間**59**分を超えるか、走行距離が**999.9**マイル［km］を超えたときは、"E"が画面に表示され、それ以上の計測は不可能になります。

ODO（積算走行距離） RT255/255L/277/288/288L

積算走行距離表示は99,999マイルもしくは99,999kmまでです。精度は1.0 Mもしくは1.0 kmです。

CLK（時計） RT255/255L/277/288/288L

時計は12時間もしくは24時間どちらでも表示可能です。

その他特徴

スリープモード RT255/255L/277/288/288L

5分間ボタン操作入力および走行がなく時間のみの表示で・・った場合、コンピュータは自動的にスリープモードに入ります。いずれかのボタンを押すか、車輪が動いたらコンピュータはスリープモードから元の画面に戻ります。（オートスタートがプレセットでOFFの場合、RT288/RT288Lはいずれかのボタンを押すとスリープモードを終了できます。）

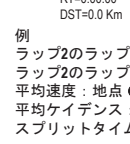
スマートライト RT255L/RT288L

スマートライトは設定した時間の間でいずれかのボタンを3秒間押すとつきます（スマートライトの設定を参照ください）。

サービスタイマー（🔧） RT255/255L/277/288/288L

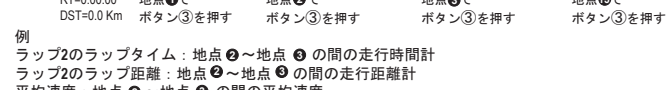
"🔧"が点滅をしたら、サービスタイマーの時間です・B

走行ペース（▲▼） RT255/255L/277/288/288L



走行速度が平均速度よりも遅いときには▼、早いときには▲で示します。

マルチフリーズフレームメモリー（RT255/255L/277/288/288L）

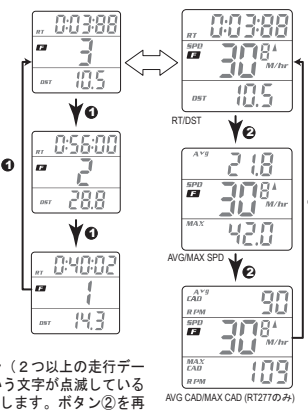


例
F2の走行時間：❶地点から❷地点までの合計走行時間
F2の距離：❶地点から❷地点までの走行距離計
平均/最高速度：❶地点から❷地点までの平均/最高速度
平均/最高ケイデンス：❶ 地点から❷ 地点までの平均/最高ケイデンス

走行データの記録
（フリーズフレームメモリーにあらかじめ設定されていたら）ボタン③を押してノーマルモードにして記録します。
フレームを記録したら、Fアイコンが点滅し、中段スクリーンに表示されます。
記録された後、走行時間/距離、平均速度/最高速度、平均ケイデンス/最高ケイデンス*が続けて表示され、その後元のノーマルディスプレイモードに戻ります。

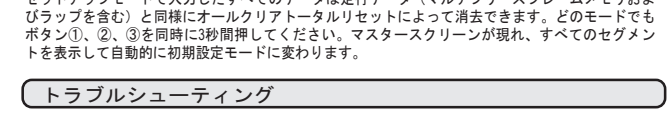
備考:
1. アイコン F はマルチフリーズフレームメモリーが選択されているときのみ表示されます。
2. フリーズフレームは車輪が動いたときのみ記録されます。
3. ボタン③が5秒以内に続けて押された場合は新しい記録は保存されません。
4. フリーズフレームは呼び出しモードでは記録されません。
5. 11セット（RT255L/RT288Lは16）までフリーズフレーム（走行時間/距離、平均速度/最高速度、平均ケイデンス/最高ケイデンス*）が記録できます。11もしくは16を超えたときには中段スクリーンに**"F"**が表示され、ボタン③を押してもそれ以降の記録はされません。
6. 走行時間が99時間59分を超えるか、走行距離が999.9マイル［km］を超えたときは、コンピュータはそれ以降新しく記録することはありません。中段スクリーンに"E"が表示され、ボタン③を押してもかわりません。
（*RT277のみ）

フリーズフレームメモリーの読み方
いずれのモードでもボタン③を2秒間押し続けると、記録されている走行データが呼び出せます。F（フリーズフレームメモリー）呼び出しスクリーンでは一番新しいものが最初に表示されます。中段の数字はF#(フレーム番号)と記録された速度が2秒毎に切り替わります。ボタン②を押してF走行データに切り替え、ボタン①を押してF#をあわせます。



備考:
1. 何も記録されていない場合は、中段には"- -"と表示されます。
2. フリーズフレームメモリーを0にリセットするには、下段スクリーンがDSTモードのときボタン①と②を同時に押し続けます。
3. 呼び出し画面でボタンが1分間押されなければ元のノーマルモードに自動的に戻ります。
4. ボタン②を2秒間押してF走行データとLAPスクリーン（２つ以上の走行データが記録されているとき）を切り替えます。LAPという文字が点滅しているときはラップデータ呼び出し画面であることを意味します。ボタン②を再び押して戻ります。ボタン③を押して終了します。

ラップ機能（RT255/255L/277/288/288L）

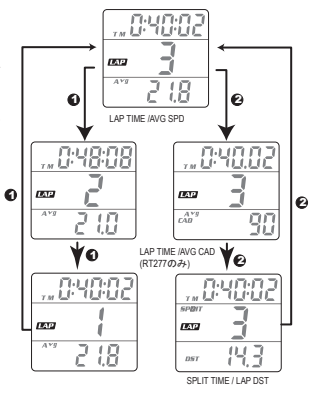


例
ラップ2のラップタイム：地点❷～地点❸の間の走行時間計
ラップ2のラップ距離：地点❷～地点❸の間の走行距離計
平均速度：地点❷～地点❸の間の平均速度
平均ケイデンス：地点❷～地点❸の間の平均ケイデンス
スプリットタイム：地点❶～地点❸までの走行時間計

ラップデータの記録
（ラップ機能があらかじめ設定されていたら）ノーマル・ａ[ドにいるときはいつでもボタ③を押して記録できます。
ラップを記録するときには LAP アイコンが点滅し、LAP#(ラップ番号)が中段スクリーンに表示されます（LAP 1 のスタートは"Str"）。
データ記録後、ラップタイム/平均速度、ラップタイム/平均ケイデンス*、スプリットタイム/ラップ距離が続けて表示され、その後元のノーマルディス・vレイモードに戻ります。

備考:
1. LAP アイコンはラップ機能が選択されているときに表示され・ワす。
2. ラップは車輪が回転しているときにのみ記録されます。
3. ボタン③を続けて5秒間押したときには新しいラップは記録されません。
4. 呼び出しモードでは新しいラップを記録することができません。
5. 10（RT255L/288Lは15）までのラップデータ（ラップタイム、平均速度、平均ケイデンス*、スプリットタイム+ラップ距離）が保存できます。10（もしくは15）を超えると中段スクリーンに"F"が表示され、それ以上はボタン③を押しても記録できません。
6. ラップライムもしくはスプリットタイムが99時間59分を超えるか、ラップ距離が999.9マイル［km］を超えたときは、コンピュータはそれ以降新しく記録することはできません。中段スクリーンに"E"が表示され、ボタン③を押してもかわりません。
（*RT277のみ）

ラップデータの読み方
いずれのモードでもボタン③を2秒間押し続けると、記録されている走行データが呼び出せます。ラップ呼び出しスクリーンでは一番新しいものが最初に表示されます。ラップ呼び出しモードの時、LAP という文字が点滅します。F#と記録された速度が2秒毎に切り替わります。ボタン②を押してラップデータスクリーンを表示し、ボタン①を押してLap#をあわせます。



備考:
1. 何も記録されていない場合は、中段には"- -"と表示されます。
2. ラップデータを0にリセットするには、下段スクリーンがDSTモードのときボタン①と②を同時に押し続けます。
3. 呼び出し画面でボタンが1分間押されなければ元の通常モードに自動的に戻ります。
4. ボタン②を2秒間押してLAPスクリーンとF走行データ（２つ以上の走行データが記録されているとき）を切り替えます。F という文字が点滅しているときはF呼び出し画面であることを意味します。ボタン②を再び押して戻ります。ボタン③を押して終了します。

オールクリアトータルリセット（RT255/255L/277/288/288L）

セットアップモードで入力したすべてのデータは走行データ（マルチフリーズフレームメモリおよびラップを含む）と同様にオールクリアトータルリセットによって消去できます。どのモードでもボタン①、②、③を同時に3秒間押してください。マスタースクリーンが現れ、すべてのセグメントを表示して自動的に初期設定モードに変わります。

トラブルシューティング

- 走行速度表示が間違っている、あるいは表示されない。
スポークマグネットとセンサー/トランスミッターの並びおよびトランスミッターとヘッドユニットの距離を確認します。
もしくはワイヤーが切断されていたり、ねじれていないか確認し、必要に応じてブラケット交換してください。（RT255/255L/277）
- 操作中に不正確なデータが表示される。
設定データが間違っている可能性があります（ホイール・Tイズ設定など）。
- データ表示が非常に遅い。
コンピュータのLCD画面の動作環境は 0°C ~ 50°Cです。この範囲の温度環境に戻してください。
- 画面が暗く文字が正確に表示されない。
コンピュータを直射日光にあて、長時間さらさないでください。画面が戻るまで日陰に戻してください。
備考：データに影響はありません。
- 画面表示が薄い、またはかすれている。
バッテリー消耗していると考えられます。バッテリーを交換してください。
- 画面表示が不規則で正しい位置に表示されない。
バッテリー消耗していると考えられます。バッテリーを交換してください。
- 画面が固まってしまって、ボタンに反応しない。
バッテリー消耗していると考えられます。バッテリーを交換してください。
- 何も表示されない。
バッテリーが完全に切れているか、入っていないかです。バッテリーを交換もしくは装着してください。

保証規定

当社規定により欠陥のある製品の修理、交換を行います。最初のご購入者に対し、すべてのVETTA製品の材質上、構造上、および組み付け上の欠陥がない・7とを、ご購入の日から3年間保証します。この保証は通常の走行状況でのご使用に限り、消耗や擦り切れ（バッテリー交換やワイヤ切れなど）、激しい使用、偶発的な損害、不適切なインストールや改造は保証対象外です。また、VETTA正規取り扱い店以外で購入された方には適応されません。

カスタマーサービスセンター
ライトウェイプロダクツジャパン株式会社
〒171-0022東京都豊島区南池袋3-18-34
池袋シティハイツ102
Phone: 03-5950-6002
Fax: 03-5956-8028